

民間航空機MRO 戦略産業クラスター計画（千葉県成田空港周辺地域）の概要

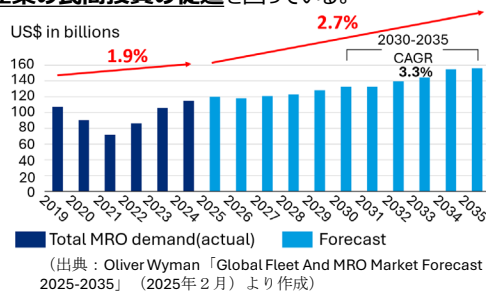
現状と課題

千葉県成田空港周辺地域の ポテンシャル（強み）

- 成田空港は、年間発着容量を34万回から50万回へ拡大する見込み。
- 国内MRO事業者にとって、海外に依存していたアフターマーケット市場の取り込み機会が拡大する好機。

● 現状（その地域・産業を取り巻く将来の見通し） 拡大するMRO市場

- 世界のMRO市場は、2035年初頭にかけて**年平均成長率2.7%で拡大すると予想**されている。千葉県では、地域未来投資促進法を活用し、**MRO等の成田空港の特徴や強みを生かせる産業の民間投資の促進**を図っている。



● 課題

インフラ

- 空港周辺道路の渋滞等によるサプライチェーン・物流等への影響、一定規模以上の産業用地不足。

デジタル

- 労働集約的な現場による低生産性の課題（下記イメージ）。

設備

- 大型エンジン試運転設備が国内に存在せず、整備や試運転工程を海外に依存し、競争力がない。

人材

- 即戦力の整備士や特殊規格に対応できる専門**人材の不足**。

Before
手作業で加工

After
自動化

進行中の大規模投資案件と取組

● 核となる大規模投資案件【道筋】

【JALエンジニアリング（千葉県成田市）】
空港整備地区の自社設備老朽化対策。

【JALエンジニアリング、IHI、ANA（千葉県成田市）】
国内初 航空機大型エンジン試運転施設へ投資を検討。

総投資額 200億円規模見込み
現在は試運転施設の設置及び
2030年代前半からの段階的稼働に
向けて設備の基本設計を推進。

※ 脱炭素成長型経済構造移行推進対
策費補助金（経産省）に採択



エンジン試運転施設（イメージ）

● 課題解決に向けた取組【政策手段】

インフラ

- 国は東関東水戸線や圏央道を整備、県は国道等の広域道路や空港周辺道路を整備する。産業用地は、千葉県が芝山町岩山地区にて約49haを予定。

デジタル

- JALエンジニアリングによるDX投資を検討。

人材

- 芝山町等が航空宇宙産業に係る**教育と情報発信等を一体化した拠点整備を検討**。教育機関の誘致及び人材育成プログラムの構築に向けて取り組む。

● インフラ整備の例

- 東関東自動車道水戸線（潮来～銚田）
- 圏央道（川島～横芝）
- 北千葉道路
- 国道296号の4車線化
- 芝山町岩山地区における産業用地整備



目指す姿【目標】

成長する航空機MRO需要に対して、外需の獲得を含め対応していくために、**確固たる国内一貫の整備体制とサプライチェーンを確立**することを目指す。

官民設備投資額

【KGI】**2040年まで235億円以上**

【KPI】

- 2030年時点での累積投資額：100億円
- 2030年時点での累積投資件数：1件
※航空機大型エンジン試運転施設が2030年代前半から段階的に稼働する予定のため

付加価値増加額

【KGI】**2040年まで約790億円**

【KPI】

- 2030年時点での累積額：約260億円

産業人材育成数

【KGI】**2040年まで約330人**

【KPI】

- 航空専門学校2校（成田国際航空専門学校、国際航空専門学校）における卒業生数：約100人/年

航空機産業

